



福岡公民館だより 6 月号



発行：ふくおかまちづくり協議会 福岡公民館 TEL 72-2144

令和 6 年度 福岡公民館の重点方針・事業について

重点方針

1. 地域の活性化と人間性豊かな社会の形成を図る拠点として、特色ある運営を進めます。
2. 活力ある地域づくりのために、ふくおかまちづくり協議会等との連携を強化します。
3. 伝統文化の継承と文化団体を支援します。
4. 指定管理施設（公民館・常盤座）の管理と活用による地域づくりに貢献します。



重点事業	事業名とねらい
生涯学習	多種多様な公民館講座（17の講座）の開設
	乳幼児学級（おひさま広場）…子育ての学習や遊びから、親・子同志の交流を図る
	熟年ふれあい学級…毎日を豊かに過ごすために、仲間と体験や学習をする機会をつくる
	青少年健全育成推進活動…地域・学校・家庭が連携し青少年の健全育成に努める
文化	地域学校協働活動…地域・学校・家庭が一丸となり、地域みんなの力で子育てを推進する
	文化活動事業（文化展）…地域の文化振興と文化に対する意識の高揚と技術の向上を図る
	芸能活動事業（芸能祭）…地域における文化芸能を広く普及し各団体間の交流親睦を図る
	福岡文化財保護事業…地域内の文化財等の保護及び郷土史編纂活動を支援推進する
スポーツ	伝統芸能保存事業（常盤座歌舞伎保存会）…地歌舞伎の保存伝承と後継者の育成を図る
	ニツ森ふれあいクラブ活動…住民が主体となって運営しているクラブを育成支援する
運営	福岡体育協会事業…体育協会を支援することにより、健康増進とスポーツの普及を図る
	公民館運営委員会…条例により設置、公民館運営の評価や利用者の視線から助言を頂く
	公民館の環境の充実…来館者の方に季節感を味わってもらう公民館環境の充実
	公民館活動の情報発信…福岡公民館だより・福岡公民館ホームページで情報発信する
	図書室の充実と活用…地域図書室としての機能の充実と利用しやすい図書室を目指す

福岡公民館講座再募集のお知らせ

公民館講座の受付が 5 月 17 日に締め切られましたが、定員に満たなかった福岡公民館の下記 4 講座を再募集しています。

参加希望の方は、6 月 4 日(火)までに福岡公民館へお申込みください。

講座名	開催期間	開催日	時間	対象	費用	開講日
ベビーヨガ	6 月～11 月	第 2 月曜日	10:00～11:00	未就園児親子	1,750 円	6 / 10(月)
ダンベル体操	6 月～3 月	第 1 水曜日	13:00～14:30	一般	3,500 円	6 / 5(水)
防災を学ぼう	6 月～8 月	第 3 金曜日	19:30～21:00	一般	無料	6 / 21(金)
篠笛を吹こう	7 月～8 月	毎週火曜日	19:30～21:00	小学生高学年以上	1,500 円	7 / 23(火)

福岡の夜空に流れ星が見えました！

5月5日(日)、旧福岡小学校運動場で「春の星」と「みずがめ座流星群」観察会を開催しました。当日は絶好の星空観察日和に恵まれ、小・中学生親子、夫婦、一般の方などの参加がありました。

ブルーシートに「ござ」を敷いて、寝転がって星の観察を行い、天頂に「北斗七星」、「春の大曲線」、「春の大三角」、「しし座」など春を代表する星々が、はっきりと見え、点滅して動いていく飛行機や光りながら動いていく人工衛星も確認できました。

しばらくすると、大きな流れ星が北斗七星に向かって流れ、「わー！」と、歓声が上がりました。静かに時が流れ、穏やかな1時間を過ごすことができました。

福岡公民館では、「ふるさとふくおか再発見」の一環として、星空観察会を行っています。次回は、8月12日(月)に「夏の星」と「ペルセウス座流星群」観察会を開催します。詳細は、広報なかつがわ7月号と同時に配布される申込書をご覧ください。

「ふくおかの偉人」シリーズNo.6 郷土が生んだ書家 丹羽海鶴ってどんな人？

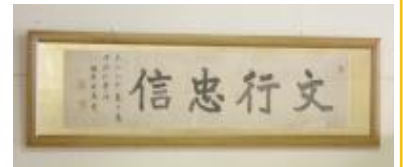
海鶴は、文久3年(1863年)田瀬村に11代続く庄屋、丹羽五兵衛の四男として生まれ、幼名を金吾、名を正長という。小柄でおとなしい性格で、文学を好み、特に幼少の頃より書を親しむ少年でした。

岐阜師範学校卒業後、高山市で教鞭の傍ら、書を学び、明治書道界の重鎮の日下部鳴鶴に認められ、その門下に入る。東京で、書の研鑽に心血を注ぎ、ついに学習院書道教師・各宮家の家庭教師・高等師範学校の書道講師等日本書道界の指導者となる。

晩年は、郷土のために扁額を寄贈したり、「村社田瀬神社」の社標を揮毫したりしました。(どちらも現在、中津川市文化財指定)また、約100年前に起きた関東大震災の復興事業として、京橋、采女橋など東京の大半の橋の表札の揮毫をしました。東京で亡くなった後には、多摩霊園に丹羽海鶴記念碑(嘉納治五郎篆書)が建てられています。



福岡町では、郷土が生んだ書家の功績を後世に伝えるため、福岡町文化協会が、平成10年(1998)に、丹羽海鶴顕彰碑を下田瀬に建立しました。



扁額(旧田瀬小学校玄関)



田瀬神社社標